

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	第2 コロコ琉球教室		
○保護者評価実施期間	2026年2月25日		～ 2026年3月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2026年2月25日		～ 2026年3月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さんの発達段階を、脳の発達に即した評価表で分析し、ステップアップで改善に向けた支援を提供していること。	スタッフ研修を充実させ、どの職員も脳の発達について学び、質の高い療育が提供できるようにしています。	新しい職員が入社しても、同様の研修を維持し、療育の質を保つよう努めます。
2	学童期のお子さんに対して、進学後、就労後の適応力を見越した支援を行っていること。	保護者からの聞き取りを丁寧に行い、これまでの実績をもとに社会参加に必要な力は何か、それを磨くためにどのような家庭生活、学校での学び、教室でのトレーニングが必要か提案しています。	今後も県内の特別支援学校、学級の動向、就労支援事業所などの情報を収集し、適切なアドバイスができるよう努めます。
3	一人一人のお子さんに対し、細かい指導計画と申し送りを作成し、随時評価、修正を行っていること。	一人一人のケース記録の作成、個別支援計画の作成を定期的に行っています。また全職員でそれを共有し、すべてのスタッフが対応できるよう努めています。	今後もこれまで同様の方法で、ケース記録、支援計画を作成、PDCAサイクルによる質の保持を行います。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎サービスがないこと。	遠方からの通室を希望される方も多く、保護者の送迎の負担が大きいと考えられます。	現時点では送迎サービスよりも教室で充実した療育を提供することを優先しております。
2	職員の技術習得が難しいこと。	脳の発達や機能分化の理論、療育方法は簡単に習得できるものではなく、研修と実践にある程度の時間がかかることが要因です。	できるだけわかりやすい研修の実施、OJTに努める、技術の高い職員の育成を目指します。
3	情報発信が少ないこと。	採用を目的としたInstagramは開設しましたが、まだ情報発信が頻繁ではないことが要因です。	より多くの方に、発達障害とは、そして効果的な療育方法とは、を知っていただくために情報発信は継続してまいります。